

専門研究B

**聴覚障害教育における教科指導及び
自立活動の充実に関する実践的研究**

—教材活用の視点からインクルーシブ教育システム構築における
専門性の継承と共有を目指して—

平成 26 年度～27 年度

研究成果報告書

平成28年3月



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

はじめに

特別支援学校（聴覚障害）では、人工内耳を装用する児童・生徒数や重複障害者の増加により、在籍する児童生徒の実態がより多様化している。聴覚障害者の「学びの場」の一つである特別支援学校（聴覚障害）では、教科指導等をどのように学力向上に結びつけていくか、また、教科指導等に関する専門性の継承・共有が重要課題であり、様々な実践研究がなされている。

教科指導等をより効果的に進め、学力の向上を図るためには、教材の果たす役割が極めて重要である。このため、聴覚障害教育研究班では、平成24年度に全国特別支援学校（聴覚障害）の教材の保有及び活用に関する現状調査を実施した。この結果、学校では多くの教材が保有、自作されていること、一方、教員の聴覚障害教育経験年数が短く、専門性の継承が困難な状況であることも明らかになった。

平成25年度は、専門研究A・Bにつなげるための予備的・準備的研究として、研究協力機関（2校）で小学部国語科（低学年）の研究授業及び研究協議を行い、教材の選択と活用の在り方に関して、特に、教材文を読み進めるための事前指導や他教科等との関連のさせ方の知見を得た。また、全国特別支援学校（聴覚障害）の教員を対象とした研究協議会を開催し、本研究で取り上げた単元・教材の指導に関する情報交換を行った。

これまで得られた知見は、聴覚障害児の教科指導に係る専門性として特別支援学校（聴覚障害）で継承・共有されるべきものと捉えた。

以上を踏まえ、平成26年度から2カ年計画で、国語科、算数・数学科、自立活動へと対象を広げ、教材の選択と活用に関する実践研究に着手することとした。そして、聴覚障害児の教科指導及び自立活動の指導において継承・共有すべき指導上の知見を得ることとした。

平成26年度は、国語科の授業研究、算数・数学科の調査分析と授業研究、自立活動の調査分析を行うこととしたが、本研究の趣旨及び授業研究の進め方について研究協力機関6校と共通理解のもと国語科について授業研究を行うこととした。

平成27年度は、平成26年度の研究法を踏襲し、算数・数学科及び自立活動の授業研究を行い、特別支援学校（聴覚障害）における教科指導及び自立活動における教材の選択と活用について検討を行うこととした。加えて、研究副題を「教材活用の視点からインクルーシブ教育システム構築における専門性の継承と共有を目指して」とし、インクルーシブ教育システムの構築を視座した研究を志向した。

また、インクルーシブ教育システムの構築を踏まえ、聴覚障害児が学ぶ難聴特別支援学級、通級による指導（難聴）、通常の学級における聴覚障害教育の専門性の継承・共有に資することをめざして理解啓発資料を作成することとした。

（研究代表者 企画部 上席総括研究員 原田公人）

目次

はじめに

第1章 研究の目的と方法	3
--------------	---

第2章 国語科授業実践

第1節 授業実践1 小学部4年「アップとルーズで伝える」	9
第2節 授業実践2 小学部4年「ごんぎつね」1	22
第3節 授業実践3 小学部4年「ごんぎつね」2	36
第4節 考察	47

第3章 算数・数学科授業実践

第1節 特別支援学校（聴覚障害）におけるコミュニケーション手段と 教材活用に関する現状調査（算数・数学科）（平成24年度）	57
第2節 授業実践1 小学部1年算数科「どちらがながい」	61
第3節 授業実践2 中学部3年数学科「平方根」	69
第4節 考察	77

第4章 自立活動授業実践

第1節 聴覚障害教育における教科指導等の充実に関する実践的研究 －教材活用の視点から－に係る自立活動調査（平成26年度）	85
第2節 授業実践1 小学部1年「なんといったのかな」	92
第3節 授業実践2 小学部2年「比較文」	99
第4節 授業実践3 小学部4年「ことばでことばをかंगाえよう」	105
第5節 考察	110

第5章 教材活用の視点からインクルーシブ教育システム構築における 聴覚障害教育の専門性の継承と共有を目指して

寄稿 聴覚障害教育における教科指導

第1節 聴覚障害教育を巡る現状	129
第2節 授業に関わる要素	133
第3節 これからの聴覚障害教育における教科指導を進めていくために	140

資料1. 指導案

東京都立大塚ろう学校、静岡県立静岡聴覚特別支援学校、長野県長野ろう学校	147
-------------------------------------	-----

資料2. 自立活動調査票	157
--------------	-----

研究体制	163
------	-----

執筆者一覧	164
-------	-----

参考文献	165
------	-----

おわりに	167
------	-----

